

All Japan Educational Model United Nations



United Nations
General Assembly
1st Committee (DISEC)

EIGHTIETH UNITED NATIONS GENERAL ASSEMBLY FIRST COMMITTEE

A/80/1/WP.3

Agenda item: AI と軍事 (AI and the military)

2025年8月4日

Sponsor: Bangladesh, Chile, Costa Rica, Germany, Indonesia, Kenya, Libya, New Zealand, Pakistan, Philippines, Slovakia, Switzerland, Thailand

第80回国連総会第一委員会は、

国連憲章、世界人権宣言、国際人道法に掲げられた原則に従い；

2018年以来、アントニオ・グテーレス国際連合事務総長は、殺傷能力のある自律型兵器システムは政治的に容認できず、道徳的にも嫌悪すべきものであると主張し、国際法の下でその禁止を求めてきたこと、同議長が2023年の「平和のための新たなアジェンダ」において、この呼びかけを繰り返し、2026年までに、人間の制御や監視なしに機能し、国際人道法を順守して使用できない致命的な自律型兵器システムを禁止し、その他のすべての種類の自律型兵器システムを規制する法的拘束力のある文書を締結するよう各国に勧告したこと、そして、同議長は、具体的な多国間規制がない場合、こうしたシステムの設計、開発、使用は人道的、法的、安全保障的、倫理的な懸念を引き起こし、人権と基本的自由に対する直接的な脅威となると指摘したことを想起し；

国連の特定通常兵器使用禁止制限条約（CCW）における政府専門家会合（GGE）やその他関連国際会議において、致死性自律型兵器システムの課題と規制に関する活発な議論が継続していることを評価し；

AI技術の革新が人類の進歩や持続可能な開発に良い影響を与える可能性があることを留意し；

いかなる関連分野においても、これらの技術の開発・配備・使用を規制する法的拘束力のある国際的な規則や条約は未だ存在しないことを心配し；

人間の関与なしに作動し、無差別な被害をもたらす可能性のある致死性自律型兵器システム（LAWS）がもたらすリスクに懸念し；

対話と国際法尊重により紛争が解決される平和な世界への強い希望を表明し；

1. 生成AIの使用を制限しないことを訴える、
2. 生成AIの著作権問題および個人データ利用に関する国際的な話し合いが行われることを促す；
3. 軍用AIの全面禁止をするように強く促す；
4. AIの誤作動に関しては国および運用者が責任を負うことを依頼する、
5. AIの誤作動・暴走・事故を防止するための国際的な機関の導入を奨励する。